

きんもくせい

令和2年3月16日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 増田 真澄
(磐田市立城山中学校)



「養護教諭に必要な力」

静岡県養護教諭研究会長 増田 真澄

保健室の外から漂ってくる沈丁花の香りに、春の訪れが近づいていることを感じます。この時期になると、卒業式に向けての生徒の歌声が音楽室から聞こえてきて、しみりした気持ちになるものですが、今年は不測の事態に校内の空気が一変しました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、その感染拡大を防止するために、3月2日から全国の小中学校、高校と特別支援学校において、臨時休校の措置がとられたのです。

これを受け、各校においては多面的かつ迅速な対応が必要になったことと思います。

私たち養護教諭がこのような突発的な出来事に対応するためには、日頃の管理体制が重要です。さらに、今回のような緊急性のある新たな課題に対しては、情報（通知）を整理してまとめる力、優先して行わなくてはならないことを見極める力、柔軟で機敏な対応ができる力をつけておかななくてはならないと痛感しました。

このように学校現場が慌ただしく動いている中で、静岡大学教育学部教授 小林朋子先生からいただいた臨時休業に対する子供の心のケアの資料は、タイムリーで大変ありがたいものでした。この場を借りて、お礼申し上げます。この会報が会員の皆様のお手元に届くころには、新型コロナウイルス感染症の感染が少しでも収束していることを祈るばかりです。

そのために今は、児童生徒の健康状態の把握を行うとともに、児童生徒及び教職員の健康の保持増進に努める毎日です。

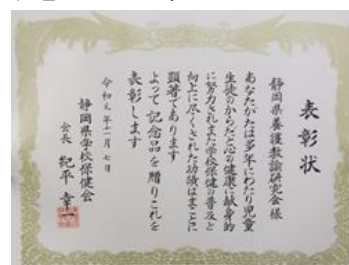
さて、今期は、「養護教諭の職務を広げ、つなぎ、深めよう～養護教諭の基本的な職務を見直し、現代的なニーズに応える～」というテーマで事業を進めてきました。

研究活動の軌跡を残すものとして、会誌「たちばな 61・62号」会報「きんもくせい 111～122号」を、実践事例集16はテーマに直結する内容に絞って、県内の養護教諭の貴重な実践を盛り込んで、発行することができました。これらすべての活動は、会員の御理解と御協力のもと、各地区から選出されました委員の皆様のお熱い思いと英知によるものです。これからも、時代の変遷に戸惑うことなく、養護教諭の不易な活動を大切にしながら、現代的なニーズに応えられる力を付けていくことができるよう、研究会の活動がさらに発展していくことを願います。

改めまして、ここまでの御指導・御支援に感謝しつつ、次期研究会の活動に期待いたします。

静岡県学校保健会「学校保健功労賞（団体）」授賞

これまでの静岡県養護教諭研究会の様々な活動を認めていただき、「学校保健功労団体」として第58回静岡県学校保健研究大会にて表彰していただきました。今後も、静岡県養護教諭研究会のこれまでの歴史を感じながらさらに研究会の活動を充実させ、発展していくように努力していきたいと思っております。





役員からお礼のメッセージ



皆様の御支援のおかげで無事に終わることができました。
役員一同、心より感謝申し上げます。

☆副会長として多くの方と出会い、様々なことを学び、養護教諭のこれからをたくさん考える機会をいただきました。そのチャンスを与えてくださった全ての皆様へ感謝いたします。

【副会長 白井悦子】

☆事例集編集委員の方々や会員の皆様の、子供を想う力に支えられ、「実践事例集 16」の発刊とともに、2年間を終えることができました。感謝しかありません。

【副会長 杉山香理】

☆歴史のある会誌「たちばな」を無事に発刊できてほっとしています。この2年間で本校の重点目標『人とつながり、共に高め合う』が達成できました。皆様のお陰です。心から感謝します。

【副会長 伊藤久美子】

☆県研究会のホームページ編集や夏季研修会、冬季研修会等を通して、養護教諭という職について多くを学ばせていただいたこと、出会った方々の熱意に触れられたことに感謝しています。

【副会長 橋本照美】



☆2年間ホームページを担当させていただきました。十分な活動はできませんでしたが、素敵な役員の方々とともに、充実した時間を過ごすことができました。

【幹事 土屋智美】

☆研究会の役員をさせて頂き、多くのことを学ばせていただきました。「組織検討委員会」では、会則改正について会員の皆様に御理解いただき、感謝申し上げます。

【幹事 加藤美紀】

☆幹事として研究会の仕事に携わらせていただきました。たくさんの方々との出会いの中で、多くのことを学ぶことができ、大変勉強になった2年間でした。

【幹事 原間直子】

☆たくさんのお出会いと研究会の組織の偉大さを感じた2年間でした。研究会の一つ一つの活動や調査が日々の執務に大きくつながっていると改めて感じました。

【幹事 山内真由美】

☆「実践事例集 16」を担当させていただきました。監修の林典子先生、編集委員長、編集委員の皆様さんとの出会いに感謝します。2年間ありがとうございました。

【幹事 宮村真知子】

☆養護教諭は一人職ですが、『決して一人ではなく、周囲に支えられ、多くの人とつながっている』ことを感じられる2年間でした。

【幹事 前田智恵子】



☆事務局の仕事を通し、研究会の活動は、会員の皆様、諸先輩方、関係機関等多くの方々とのつながり、支えられていることを強く感じた2年間でした。

【事務局 松本美奈子】

☆研究会の会計という仕事を通して、改めて静岡県養護教諭研究会という組織の素晴らしさ大切さを感じました。貴重な経験や新たな出会いに感謝です。

【会計 太田美由紀】



☆「会員名簿」や「実践事例集」等の編集を通して研究会の組織のつながりの深さを実感しました。研究会での素晴らしい出逢いや学びに感謝し、今後『不易な活動』をつなげていきます。

【書記 宮谷恵理】

☆役員の仕事を通して、静岡県養護教諭研究会の歴史の重みを実感するとともに多くの方々との出会いとつながりの中で有意義な2年間を過ごすことができました。

【書記 望月直美】



☆「確かな研究理論」と「情」、「ビジネスマナー」を持ち合わせている素敵な組織だと認識した6年間でした。温かく研究会を支えてくださった関係の皆様へ深く感謝いたします。

【顧問 山崎永子】

